公民館報 こもろ
6月号
発行／小諸市公民館
編集／館報編集委員会
〒384-0801
長野県小諸市甲1275-2
☎0267-23-8880
No.808

旧寅さん会館駐車場の
アジサイ

❖主な内容

30 ― 特集 ― 公民館運営方針／編集委員紹介
31 7月公民館講座のご案内／高濱虚子記念館からのお知らせ
32 えんぴつリレー／人権同和教育研修講座のご案内
33 ぼくとわたしの作品【小諸東中学校】／新企画 教えて！あなたのサークル
34 今支館・分館では
35 文化会館カレンダーほか

編集後記

春が来れば信州では山菜が豊富だ。山菜には独特の香りと〝あく〟があってその食味食感が多くの人に好まれて、私も年齢と共に改めてその旨みに気づかされた。今ではあっちこっちへと山菜採りに出掛け、自分で調理することも楽しみとしている。山菜の調理と言っても多くは、シンプルで簡単なものだと思うが、山菜は採る時より調理前の下ごしらえが根気を必要とし、大変な場合が多い。適量を自分に言いきかせ採取して来ることにしている。そして山菜の旬の期間は短く、丁度その山菜の旬を見定めることはなかなか難しく、数多くの失敗の経験をさせられてきた。また、人それぞれに好きな山菜の違いもあるが、私は比較的香りとあくのしっかりした山菜が好きで、中でも「しどけ」と一般に呼称されている学名「紅葉かさ」が好きで、緑色が濃く菜葉姿のしどけをサッと湯通しをしてお浸し風で食す。これぞ山菜の女王と自画自賛し、友人達に勧めたりしている。しどけの旬は5月中下旬、小諸では余り見かけず残念に思っている。

編集委員　竹節　正勝